

講演 1

医療における行動経済学入門 ～ 患者と医療者のすれ違いはなぜ起こり、 どうすれば解消できるのか ～



ひら い けい
平井 啓

大阪大学大学院人間科学研究科／大学院医学系研究科 准教授
市立岸和田市民病院 公認心理師

要旨

患者は医療者に対して「説明をしても分かってもらえない」「伝わらない」という思いを抱き、医療者もまた患者に対して「説明をしても分かってもらえない」「伝わらない」という思いをよく抱きます。このような患者と医療者のすれ違いの背景には、患者と医療者の双方に存在するさまざまなバイアスが影響しています。本講演では、行動経済学の視点から、前半では患者と医療者のすれ違いの原因について解説し、後半ではその解消法について、「フレーミング効果」と「ナッジ」という概念を使ってお話しします。

キーワード

行動経済学, 限定合理性, 損失回避, プロスペクト理論, 現在バイアス, フレーミング効果,
リバタリアン・パターナリズム, ナッジ